

# 平和を祈る



オリーブの枝  
(平和、調和)

今年も原爆の日を迎えようとしています。一九四六年（被爆一年後）のクリスマスイヴに、広島市キリスト教会連盟とNHKとが開催した『クリスマス音楽礼拝』が、当時、現在の三越の向いにあった広島流川教会で行われました。まだ原爆の傷跡がまざまざと残る瓦礫の中で、広島のカトリック教会の信徒達が被爆後、初めて一同に会し、広島放送合唱団、広島キリスト教連盟聖歌隊、広島放送管弦楽団によるハレルヤコーラスと共に捧げられた聖夜礼拝は、大変感銘深いものであった様です。この時の古い資料をみせていただきました。広島教会の四重一郎牧師が祈禱をして居られ全文残って居ます。焼跡で捧げられた平和の祈りに、六十四年後の原爆の日を前に今一度思いを馳せたいと思います。（小林涼子）

天地の主 聖き恵の御神 茲に我等人類最大の光榮なる救主イエスキリストの御降誕を祝すべきクリスマススの日を迎へ 高らかにその榮光をほめまつる時をあたへられ 衷心より感謝申し上げます

主は実にこの日 榮に輝く天のみくらより降りて 貧しき人となり 違へるすべての罪人をたづねて福音を宣べ伝へつつ 遂に罪のつくなひとして あのいたましき十字架の最後をとげたまひました

このキリスト立たたまひしより ここに二千年 人類は如何に多く彼の教と恵みにより 暗黒より光明に 罪惡より救ひに導かれたことでありませう

実に彼の貧しさは そのまま世界の富であり 彼の苦しみは我等の祝福 彼の十字架は人類に対する贖罪愛でありました もしキリスト生まれ給はざりしなば この世は如何になつたでありませう

おおめぐみの神よ

我等はここにこのめぐみの日を迎へて 衷心より感謝と歡喜の思ひを禁じ得ないのであります

今や戦亂も終りを告げて 平和の礎があらたに世界の人の心に据えられようとしてゐるとき 救ひ主キリストの愛と平和と

が ここにあらためて我等の眞実な問題として省みられねばならなくなりました 彼の愛こそ実に我等の愛となるべきであり 又我等の眞の平和は 実に彼の平和の中にのみあるのであります

原爆の地広島が このたび世界平和のために 大いなる犠牲を拂いましたのは無意義なこと終るでありませうか

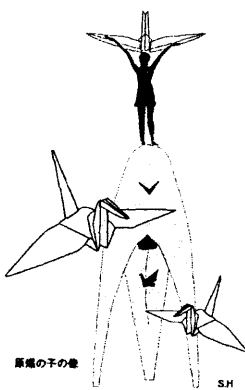
犠牲をかへて祝福となし給ふキリストの御精神が今こそこの広島に活かさるべきを信じて疑ひません

おゝ救ひの神よ

ねがはくばこの日 世界のあらゆる争ひと憎しみ 汚れと恥 罪と不眞実を潔めて榮光に輝く神の国の義と平和とを充ちさせ給へ

特に祖国日本の靈的復興のために 又戦争の慘禍により犠牲多かりし同胞兄弟姉妹の上に みめぐみの豊ならんことを切に祈り奉る

救主キリストの御名によりて アーメン



平和の子の鳩

S.H